

信州 高遠城下探訪まっふ

Welcome to Hometown of Takato Masons



江戸時代、信州高遠は石工の里として全国的に知られ、北は青森県、南は山口県に至るまで1都18県で作品を残しています。現在の高遠町だけでも2,229基の石仏、石造物が確認されています。このマップに記載されている場所以外にも多くの石仏が安置されています。ぜひご自身で発見された石仏を地図に記載いただきながら、石仏巡礼をお楽しみください。

おすすめ散策コース

- 高遠石仏巡礼 ①から⑫の石仏ポイントを徒歩で散策(順不同) — 4~6時間
- 西高遠エリア 高遠町図書館Pに駐車し①から④を徒歩で散策 — 1時間
- 西高遠+的場エリア 高遠町図書館Pに駐車し①から⑥を徒歩で散策 — 2時間
- 東高遠エリア 高遠城址公園Pに駐車し⑦と⑧を徒歩で散策 — 1時間30分
- 勝間エリア ほりていパークPに駐車し⑨から⑫を徒歩で散策 — 2時間

<p>1 相頓寺跡</p> <p>西高遠で地元の人に大切にされている延命地藏菩薩。春には桜とのコラボレーションが見事。</p>	<p>2 建福寺</p> <p>守屋貞治作の西国三十三所観世音菩薩や、弟子の渋谷藤兵衛作の楊柳観音など芸術性に優れた石仏を多数安置。</p>	<p>3 二十二夜様</p> <p>女性によって担われてきた月待ち信仰と願掛けの場所であり、守屋貞治作の延命地藏菩薩などを安置。</p>	<p>4 弁天岩</p> <p>暴れ天竜の元凶、三峰川を鎮めるため弁財天を祀る。昔、付近から採れた「城下の青石」は石工に珍重された。</p>	<p>5 香福寺</p> <p>高遠町最古の寺院。秋には紅葉が見事。向山重左衛門作の咳の地藏尊や、弘法大師の石仏や、不動明王など数多くの石仏を安置。</p>	<p>6 十王仏の</p> <p>閻魔大王などの十王信仰の石仏が10体と奪衣婆や人頭杖など、多数の石仏が苔むした姿で安置されている。</p>
<p>7 桂泉院</p> <p>守屋貞治作の准胝観音菩薩、延命地藏菩薩、聖観音菩薩、また裏山には弟子の渋谷藤兵衛作の如意輪観音、要戒和尚入塔墳などを安置。</p>	<p>8 峰山寺</p> <p>聖観音、地藏尊、昭和期作の仁王像などがある。また墓地にある巨大な五輪塔は、鳥居忠春の母のものと伝えられる。</p>	<p>9 勝間の薬師堂</p> <p>春には見事なだけ桜が咲き誇り、境内には石仏や石造物が安置。大変見晴らしの良い場所。</p>	<p>10 龍勝寺入口 石仏群</p> <p>享保10年(1725)の庚申塔は、青面金剛と二鶏三猿を浮き彫りにし、脚下には悪鬼を踏んでいる。</p>	<p>11 龍勝寺</p> <p>享保12年(1727)の観世音菩薩には勝間村の元々の名称である葛麻村の文字が刻まれている。維摩居士、延命地藏、聖観音、石塔など多数の石仏が安置。</p>	<p>12 大聖明王</p> <p>三峰川の氾濫を抑える為に安置された守屋貞治の代表作の1つ。常盤橋のたもとに座して、厄災から人びとを守っている。</p>

● 道祖神

● 観世音菩薩

● 庚申塔

● 地藏菩薩

村の守り神として知られている道祖神は、村境や辻などに立って、厄災や疫病が村へ入るのを防ぐとともに、子孫繁栄や五穀豊穡、旅人の安全を祈るなど様々な利益を願うために信仰されました。道祖神の文字のみを刻んだものや、男女が仲睦まじく寄り添う様子を浮き彫りにした「双体道祖神」などがあります。

観音様と親しまれ、人々の苦しむ姿を見るとすぐにその場に駆けつけて苦難を救ってくれという現世利益の強い仏様です。蓮の花を持つ聖観世音菩薩、白衣を着て白い蓮の腕の中にいる「白衣観音」、十八の腕を持ち正面左右の二手で法印を結ぶのが「准胝観世音菩薩」です。

昔の暦千支は六十日、六十年で一回りする仕組みで、庚申(かのえ)の年は人心が冷めて災いが起こるとし、それを避けるために六十年ごとに建てたのが庚申塔です。また、六十日ごとに巡ってくる庚申の日の夜は、体内から三尸という虫が這い出し、その人の悪事を天帝に告げ口して寿命を縮めると信じられていました。その夜は人だて眠ってしまい、三尸が抜け出すので、大勢で騒ぎに明かす庚申待という行事も盛んに行われました。古い庚申塔は日月、青面金剛、二鶏三猿が彫られる様式があり、青面金剛は三尸を抑える日本独自の仏様で、猿鶏は申年が去って早く酉年が来て欲しいという願いといわれています。

あらゆる人を救済するといわれ、祈りに特別な決まりはなく、自分の願いを直接ぶつければよいとされたことから宗派を超えて多くの人の信仰を集めました。六地藏とは、六道という輪廻の世界から人々を救うとされています。

★ 道祖神 ★ 石仏群(庚申塔・甲子塔・月待塔・石仏等)
 ★ 庚申塔 ★ 石碑石塔・その他

信州 高遠 藤沢谷 石仏まつり

Welcome to Hometown of Takato Masons

伊那市高遠町から茅野市へと続く杖突街道(国道152号)は藤沢谷と呼ばれ、古くは甲州や江戸と伊那谷を結ぶ主要街道でした。今でも街道沿いには宿場町の名残があり、田畑や山川の風景と相まり伊那市随一の風光明媚な街道です。この高遠町藤沢谷は山に囲まれた地形で、広い耕作地が確保できなかったため農業だけでは食べていくことができず、次男以降の男子の多くは石工となり生計を立てていました。江戸時代、厳しい財政であった高遠藩を支えたのも石工による稼ぎで、全国各地で活躍し、高遠石工のブランドを広げました。この藤沢谷にも数多くの石造物が残っており、藤沢谷南部の長藤地区で五百二十二基、北部の藤沢地区で五百八十三基が確認されています。稀代の名工守屋貞治も長藤地区の塩供で生まれ、父、祖父共に石工として活躍していました。

藤沢谷と高遠石工

ふじさわだに

たかとおいしく



3 昌福寺の十王仏

ユニークな表情をした十王仏、奪衣婆、人頭杖が寺の露天に並び、地藏菩薩と観音菩薩も優しい表情で安置。



1 板山の道祖神と馬頭観音

愛嬌ある表情の石仏が3体安置され、四季折々の風景と相まってフォトスポットとしても人気がある場所。



4 花文字道祖神

三匹の猿と見られる顔が、それぞれの文字の中に描かれた遊び心に溢れる道祖神。隣にある青面金剛が刻まれた庚申塔も見事。



2 指月庵(護摩堂)の地藏菩薩

様々な姿をした地藏菩薩と如意輪観音、聖観音、月待塔、庚申塔、蚕玉大神など多数の石造物が安置されている。

- ★ 道祖神
- ★ 石仏群(庚申塔・甲子塔・月待塔・石仏等)
- ★ 庚申塔
- ★ 馬頭観音
- ★ 石碑石塔・その他

発行元 / 伊那市高遠商工観光課 TEL.0265-94-2556



伊那市観光協会 高遠石工ページ
※各ポイントの詳細ページは随時更新中



11 庚申塔群の諏訪神社

板碑に日月、上半身裸の青面金剛と二鶏三猿を刻むのは延宝8年(1680)に作られた古い様式の庚申塔。境内にも多くの石仏が野ざらして安置。



9 水遊園の地藏菩薩

延命地藏菩薩が数体あり、石灯籠にも地藏菩薩が彫刻されている。園内には庚申塔、甲子塔なども多数安置。



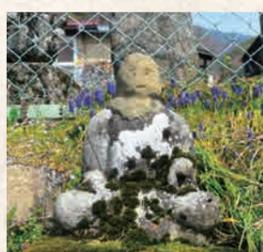
7 法華堂跡の夫婦像

廃庵に僧形・尼形の2体が台座もない状態で土の上に座している。野ざらして、分かりにくい場所に安置されているが心惹かれる石仏。



5 八幡神社の馬頭観音

数多くの馬頭観音が安置されているが、その中に1つだけ馬の姿が彫られたものがある。他ではあまり見られない珍しい石造物。



10 瑠璃殿の延命地藏

首の取れた石仏に、地元の方が顔を作りました。藤沢の「み」から名前がはじまる集落のどこかに安置されている。



8 貴船神社の北三叉路の観音菩薩

丸みを帯びた優しく女性的な観音菩薩が安置されている。三叉路の向かいには「江戸」への道しるべもある。



6 伊那谷最古の庚申塔

明暦2年(1656)に造られた伊那谷最古の庚申塔。360年以上の歴史があり、北原の集落に静かに安置されている。

バス停

- A 栗巾 B 関屋橋 C 健老橋 D 長藤 E 塩供 F 高遠北小前
- G 中条 H 渡沢橋 I 北原 J 荒町 K 宮下口 L 水上
- M 藤沢公民館 N 小田井口 O 伊那藤沢

※藤沢谷へはジェイアールバス関東高遠駅から藤沢・茅野線のバスが出ています。バスの本数が少ないので事前に時刻表を確認し、行き帰りとも計画的に散策ください。詳しくは「藤沢・茅野線ジェイアールバス関東」と検索いただくか、JRバス高遠駅にてお尋ねください。

自転車散策のご案内(参考)

- ①から⑪の石仏ポイント巡り▶およそ3時間
- ①から⑪(直線距離9km 標高差177m) およそ1時間~1時間20分

石仏師 守屋貞治

高遠石工の中でも稀代の名工と呼ばれたのが守屋貞治(もりやさだじ)です。彼は石仏の制作を専門とし、六十八年の生涯において三百三十六体におよぶ名作を残しました。温泉寺(現 諏訪市)の住職で名僧として名高い願王和尚を仏道の師と仰いだ貞治は、自らも仏に帰依し、経典や儀軌に基づいて仏心の込められた石仏を刻みました。

石仏を刻む際には経文を唱え、香を焚きしめて作業に打ち込んだといわれています。貞治が単なる「石工」ではなく「石仏師」とよばれるのはこうした由縁からです。他の石工を圧倒する技量で振られた貞治の石仏は、端正で繊細優美でまさしく「貞治仏」と呼ぶにふさわしい名作ばかりです。

高遠城下探訪まっふ(表面)の次の番号の場所に守屋貞治の作品が安置されています。

- ② 建福寺
- ③ 二十二夜様
- ⑦ 桂泉院
- ⑫ 勝間常盤橋の大聖不動明王

